

川俣サイクル&ウォーキング ロゲイニング大会 企画運営業務仕様書

1 業務の目的

川俣町（以下、「本町」という。）は、首都圏へ向けて魅力的な地域資源の情報発信や風評被害払拭、新たな観光客の誘致・交流関係人口の増加に向けて、令和5年度より「川俣サイクルロゲイニング大会」として、大会の開催やインターネット媒体での情報発信、動画の配信、令和6年度からはウォーキング部門の創設など、様々な取組みを実施してきた。

令和7年度についても、新たな参加者層の獲得のため、クロスワードゲーム形式によるゲーム性を高めた「川俣サイクル&ウォーキング ロゲイニング大会」として開催し、多くの方が本町に来てもらい、自然と食・体験などを通して、本町が被災地として安心安全であることや、特産品等への魅力を感じてもらい、本町へのイメージの向上と風評被害払拭を図ることを目的とする。

2 委託の期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

3 実施概要

コース内に設置されたチェックポイントを、制限時間内に自転車及び徒歩等の手段により、出来るだけ多くまわって獲得した得点を競う「サイクル&ウォーキング ロゲイニング大会」を開催する。

- | | |
|----------|---|
| (1) 開催日 | 令和7年9月28日（日）
※雨天決行。ただし悪天候等により中止の場合あり。 |
| (2) 開催場所 | 川俣町全域
・メイン会場（スタート・ゴール地点）
川俣町中央公民館（住所：川俣町字樋ノ口11） |
| (3) 対象者 | 以下の①の者を優先して参加対象とすることとし、必要に応じ、②の者も参加対象とする。
① 福島県外に居住する者
② その他、参加者との交流を目的として福島県内及び町内居住者 |
| (4) 想定人数 | 合計 200名程度（2～5人一組）
サイクル部門 100名程度
ウォーキング部門 100名程度 |

(5) 参加費 無料

4 委託の内容

(1) ロゲイニング大会の企画

- ・子どもからシニア層まで幅広い世代が参加でき、初心者から上級者まで楽しめる内容となるよう配慮すること。
- ・獲得したポイントに応じて、上位入賞者のみならず、大会参加者の多くが賞品を獲得できるような仕組みであること。
- ・クロスワード形式によりゲーム性を高め、新たな参加者層の獲得や、より多くのチェックポイントを回遊できる工夫をすること。
- ・本町全域に地域資源を生かしたチェックポイント（60箇所以上）設置すること。各チェックポイントについては以下のとおりとする。
 - ア 訪れてポイントを獲得できるチェックポイント
本町の地域資源を活用し、本町の魅力と現状を知ることができるものとする。
 - イ 体験することでポイントを獲得できるチェックポイント
地域資源を生かした体験活動や飲食店での購買・飲食などの体験等が出来るものとする。
 - ウ 学習することでポイントを獲得できるチェックポイント
ALPS 処理水や放射線モニタリング等に関する正しい知識を学ぶことができるものとする。
- ・ウォーキング部門の参加者に配慮し、徒歩移動でも楽しめるチェックポイントを設定すること。
- ・エイドステーションを適宜設置し、大会参加者の満足度を高める工夫をすること。
- ・大会参加者へアンケートを実施し、次年度以降の検討材料や大会の満足度のほか、「もう一度川俣町を訪れたいと思っている人の割合」を調査すること。

(2) ロゲイニング大会会場管理・運営

- ・大会準備、当日の進行や撤収も含めた大会運営マニュアルを作成すること。
- ・大会当日の記録を行うこと。（参加人数・記録、写真等）
- ・大会のメイン会場（スタート・ゴール）の使用方法是、川俣中央公民館とするが、提案をもとに発注者と協議の上、詳細を決定する。

- ・大会の運営に必要な備品や会場受付、本部を設置し、必要な警備員スタッフ等を適宜配置すること。
- ・大会開催中に負傷者等が発生した場合などに備え、安全面には十分配慮し、適切な体制の整備や必要なスタッフを配置すること。

(3) 大会ゲストの招聘

- ・サイクリングやウォーキング愛好者に知名度の高いインフルエンサーを大会ゲストとして招聘すること。大会ゲストの招聘にあたっては、以下のとおりである。
 ア 大会やトークショー等の催しなどに参加することができる者であること。
 イ 大会ゲストは、大会の開催前から開催後において、テレビ・ラジオ・SNS等の情報発信力のある媒体で本事業の情報を発信すること。

(4) 広報・プロモーション

- ・全国で開催されるスポーツイベントにエントリーできるサイト（例：スポーツエントリーなど）を活用し周知を行うこと。
- ・参加者の募集については、チラシ、ポスター、SNS、インターネット等を活用した効果的な広告媒体を提案し、特に首都圏へ向けた広報・プロモーションを行い参加者の募集を行うこと。
- ・メディア等へ情報発信力のある媒体（例：PR times など）を活用し、大会に関する情報の発信・周知を図るものとする。
- ・チラシ、ポスター、SNS、インターネット等を活用した効果的な広告媒体を提案し、特に首都圏へ向けた広報・プロモーションを行い情報の拡散を実施すること。
- ・本事業に係るキャンペーンサイトや SNS アカウント等を作成し、広く情報発信を行うものとし、その管理・運営を行うものとする。
- ・大会参加者は各個人の SNS からハッシュタグをつけて発信することでボーナスポイントを獲得することができるようにするなど、SNS を活用した情報発信の工夫を行うこと。